



2023 年度

11月 園だより

社会福祉法人雲柱社
五日市保育園

日ごとに朝晩の冷え込みが厳しくなり、秋も深まっています。秋といえば、芸術の秋、スポーツの秋、読書の秋、食欲の秋…など様々な秋が思い浮かびます。みなさんはどんな秋を楽しむのでしょうか。

お散歩に出かけた子どもたちが、大事そうに色付いた葉っぱや木の実を握りしめて戻ってきます。色も形も大きさも、一つひとつ違う葉や木の実を見ていると、神さまの作った自然の美しさを感じます。

「みんな違う」…これは私たち人間にも神さまが与えてくれた宝物ですね。神さまが作ってくださった自然、季節を感じながら「面白い、不思議だな、楽しそう、何だろう」と好奇心をかき立てられる、ワクワクするような事をたくさん子どもたちと共有したいと思います。

「五感を通して秋の実りや季節の移り変わりを感じ、神さまへの感謝の思いをわかちあう」

「思いを伝えあい遊ぶ中で、うまくいなくて困る経験や、気持ちが通じ合う喜びを感じる」

(11月の保育の願いより)

「五感」という言葉を聞いたことがありますか。五感とは、視覚・聴覚・嗅覚・味覚・触覚の五つの感覚のことを指します。脳の発達のためには、この五感からの刺激がとても大切だと言われています。

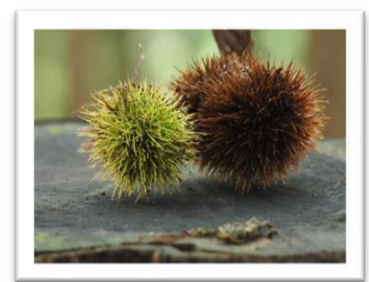
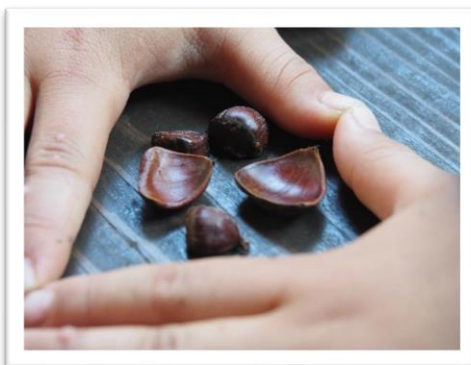
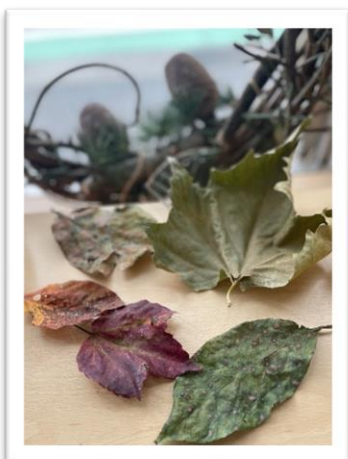
五感の外からの刺激を受けないと発達しません。いろいろなものを見て(視覚)、聞いて(聴覚)、匂いを嗅いで(嗅覚)、食べてみて(味覚)、触って(触覚)発達していきます。特別なことはしなくても、日常生活の中で体験していくことができる感覚です。例えば、赤ちゃんは抱っこして語りかけてもらうことで触覚や聴覚を刺激されます。お家でご飯を作って楽しく食事することで嗅覚、味覚、聴覚、視覚も刺激されます。

特に外遊びにはこうした脳の発達に良いとされる刺激がたくさんあります。草花の匂いを嗅いだり、きれいな山や空を見たり、季節の変化や鳥・虫の鳴き声、動植物との触れ合いなどはとても大切な経験です。裸足で触れた土の感触、雨上がりの泥の感触などもたくさんの感覚を刺激してくれます。子どもたちは毎日の生活や遊びの中で、こうした経験をたくさんして五感を刺激し、バランスよく脳を発達させていきます。

子どもたちの五感を育てるにはとても良い季節になりました。少しの時間でも子どもと一緒に外に出てみませんか。色づいた葉っぱを揺らす秋風の音、ひんやりしたその冷たい感触、落ち葉を踏んだ時のカサカサした音や感触、きれいに澄み渡った秋の空や、次々と変わる雲の形。暗くなるころには虫たちの合奏も聞こえ、月もきれいです。

私たち大人も、最近こうした感覚を磨いていないなあと思ったりしませんか。携帯電話などの電子音ばかりに敏感になり生活しているのは、むしろ私たち大人なのかもしれませんね。

神さまの創られた素敵な季節です。季節の音や子どもたちの声に耳を傾けてみましょう。



お散歩で拾った大切なたからもの

